

# 美しい音を求めて… ノン・レガートからレガートへ



ロシアからは多くの大ピアニストたちが生まれていますが、  
彼らはどのようなピアノ教育を受けて育ったのでしょうか？

ロシアの子どもたちが使用しているピアノ教本を使って“美しい音”を響かせましょう！

## ◆講座内容◆

### 1) ロシア奏法について

- ・大きな特徴である「レガート」「ピアニッシモ」の美しさを追求し、音楽が繋がって歌になるように演奏することを目指します
- ・もうひとつの重要な要素である「ペダリング」にも繋がる基礎づくりを、子どもたちから学びます

### 2) 『はじめの一步』について

- ・ノン・レガートからはじめ、しっかりとした手のかたちを作りあげ、その上でレガートを小さいころから徹底して体得  
フレーズを感じて音楽を奏でられるように練習します
- ・「手首をあげて」ではなく「手の甲をあげて」と表現し、これまでとは違う意識づけによりフレーズを引き出します
- ・「〈アクティヴ〉に指を動かすとは？」  
美しいレガートにつながる大切な要素を説明します



### 3) レッスンでの指導

各巻の中で、重要なポイントを  
数曲取り上げ、指導のコツを紹介します

## 古畑由美子

(ふるはたゆみこ)



5歳より、ピアノを始める。桐朋女子高等学校音楽科ピアノ科を経て、桐朋学園大学ピアノ科を卒業。同大学弦楽器部会伴奏研究員を経て、ザルツブルグ・モーツアルテウム音楽大学留学。在学中、マスタークラスにてレフ・ナウモフ、ドミトリー・パシキロフ両氏に毎年、師事。帰国後は東京、横浜、新潟、札幌でリサイタル、オーケストラの鍵盤楽器、在京オーケストラメンバーとの室内楽や、FM出演、いしかわミュージックアカデミー、浜松バンドクリニック、草津国際音楽アカデミーなどの公式伴奏者も務めている。後進の育成にも力をいれており、ロシアの子供のピアノ教材を使用した指導講座、及びグループレッスンを各地で行っている。洗練された技術と透明感あふれるピアニッシモは高く評価される。イタリア ファウスト・トレフランカ国際ピアノコンクール入賞、第3回国際ピアノデュオコンクール2台4手部門第2位（日本人最高位）。これまでにピアノを梶野三重子、故中島和彦、川島伸達、村手静子、クリストフ・リースケ、レフ・ナウモフ、ドミトリー・パシキロフ、ドミトリー・アレクセーエフ各氏に、室内楽を故数住岸子、紅林こずえ、練木繁夫、H. ビュイグ＝ロジェ各氏に、クラヴィコードをミケーレ・ベヌッツィ氏に師事。日本ピアノ教育連盟会員。

## ●日時

2017年 5月26日(金) 10:00~12:00

## ●会場

(株)河合楽器製作所 宇都宮店

## ●受講料(税込)

一般: 2,500円

音研会・ピティナ会員: 2,000円

## ●教材

「ロシア奏法によるピアノ教本 はじめの一步①②③」

参考:「はじめの一步 曲集」(以上、音楽之友社)

※当日会場でも販売いたします

## ●お問合わせ・お申込み先

(株)河合楽器製作所 宇都宮店

〒321-0904 栃木県宇都宮市陽東 6-4-20

TEL: 028-663-3211

FAX: 028-663-6305

キリトリ線

(株)河合楽器製作所 宇都宮店 行

FAX. (028)663-6305 申込日 月 日

古畑由美子公開講座

2017年5月26日(金)

『はじめの一步』実践セミナー

申込書

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			
種別	一般・会員 (音研会・ピティナ)		

※〇印をおつけください。ご記入いただいたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます。